

どうなる、どうする北高志願者減少 問題：和泉屋校長先生にきく

2018年に県立豊北高校と県立響高校が統合して下関北高校が発足して5年――。残念ながら年々志願者の減少が続き、2022年度入試では、定員80名に対し入学者は36名と、県内の普通科高校中で最も深刻な状況となっています。県立高校の統合や分校化、廃校など高校再編の動きの中で、下関北高の今後が危ぶまれます。

北高夢ロード実行委員会は、下関北高生の通学・学習支援を続けているところですが、2022年度総会後の討論で有志会員よりこの問題の深刻さについて問題提起も受け、情報共有を図ってきました。このたび、和泉屋校長先生をお招きして、高校としての状況認識や取り組み内容、今後の展望などについて、直接お話を伺うことといたします。

下関市北部における教育文化の重要な拠点である下関北高校は、地域の振興のためにも欠かせない存在です。豊北高校OBのみなさまをはじめ会員、関係者のみなさまのご参加をお願いいたします。

会場：滝部公民館（太陽館）会議室

日時：2022年11月26日（土）18:00～20:00

主催：北高夢ロード実行委員会

下関市豊北町滝部 218-5

お申し込み・問い合わせ：080-7749-7756

（要事前申し込み：11月19日（土）締め切り）

新型コロナの再拡大で、日程が変更になる可能性があります。
ご来場の際には、マスクの着用、検温をお願いいたします。
発熱等風邪の症状のある方のご来場は、ご遠慮願います。